

事業名

「令和3年度 第33期パワフルAOMORI！創造塾」

パワフルAOMORI！創造塾は、新たな地域活動者の発掘・育成を行うとともに、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成することを目標とした事業です。県内で活躍する（これから活躍しようとしている）意欲ある20代から40代の県民が塾生となり学んでいます。全6回の講座のうち、第2回が終了しました。その様子をお知らせします。

【第2回講座 深める】

日時 令和3年8月21日（土）9：30～16：30

テーマ 「地域に対する想いを深める」



◎講義・演習 「地域づくりに必要な条件とは？」

講師 なが おか しゅん しょう
長岡 俊成 氏

令和3年度 第33期パワフルAOMORI！創造塾第2回講座での講義・演習の講師は、イカす大畑カダル団代表 長岡 俊成 氏 です。長岡氏は、むつ市大畑にある曹洞宗円祥山大安寺（そうとうしゅう えんしょうざんだいあんじ）で副住職を務めながら、社会関係資本のハブ（中心・中核）である寺院を拠点として、様々な観光・地域づくりの事業及び社会教育に携わっています。

講義では、長岡氏が団長を務める「イカす大畑カダル団」立ち上げの経緯や「薬研温泉カフェ kadar（カダール）」の開設、コロナ禍以前のイベントの開催など、長岡氏が地元で実践してきた地域づくりについて、具体的な事例を交えながら紹介していただきました。

また、地域づくりを進めるにあたっての「必要な条件」として、眠っている地域資源を見つけていくことや望ましい未来の姿を思い描くことの大切さについて、さらには、地元根付いている寺院や神社を活かしていくことも地域づくりの一つのポイントになることについてご自身の経験を交えながら教えていただきました。

演習では、地域づくりの優先順位を考えました。「やらねばならないこと＝Must」、「できること＝can」、「やりたいこと＝Will」についてそれぞれ考えを進めて行く中で、自分が「やるべきこと＝Shall」に対する考えを深めていきました。

参加した塾生は、講義・演習を通して、地域づくりに対する自分の考えを深めたり再確認したりすることができました。



◎事例紹介 「パワフルで得たこと」

発表者 第31期卒業生 江良圭太氏

第32期卒業生 井上陽菜子氏

第33期卒業生に今後の活動や卒業後のイメージをもってもらいたいと考え、卒業生のお二人に「入塾の経緯」や「卒業後の活動」について事例紹介をしていただきました。

第31期卒業生の江良さんからは、パワフルに参加して同期卒業生との横のつながり、卒業生との縦のつながりができたことや卒業後は「青森のよさを伝えたい」、「青森って楽しいところだと思ってもらいたい」という思いをもって様々な活動に取り組んでいることを、第32期卒業生の井上さんからは、パワフルに参加したことが「自分を見つめるきっかけ」になったことや卒業後は「本当に好きなこと、楽しいこと、わくわくすること」などに目を向けるようになり、地域の良さを活かしながら活動に取り組んでいることについて紹介していただきました。



◎特別講義 「『選ばれる青森』へチャレンジ!!」、塾生とのフリートーク

講師 青森県知事 三村申吾氏

特別講義では、青森県の現状、これまで改善してきたことやこれから取り組んでいくことについて熱く語っていただきました。また、フリートークでは、塾生一人一人がこれから取り組みたいと思っていることを発表しました。知事からはその全ての発表についてアドバイスをいただきました。自分の思いを受け止めてもらったことで、塾生は決意を新たにすることができました。



◎塾生の感想から

- ・長岡さんのお話を聞き、実際に自分のやりたいことと似通った部分がありました。特にイベントなどの進め方などを分かりやすく説明していただき参考になりました。
- ・長岡さんのお話は、大変勉強になり、今後の自らの活動を見直すきっかけとなりました。
- ・今回は卒業生のお話を聞くことが聞けて非常に参考になりました。卒業後の自分に不安も少しあったので先輩として活躍している方々のお話はとても有意義でした。
- ・卒業生のお二人のように、パワフルに参加してよかったと思えたらいいな、と思いました。
- ・知事にお会いできるなんて今後もあるかわからないことですし光栄でした。自らも青森を盛り上げる一員になりたいと改めて思える場でした。
- ・知事の青森への熱い思いが伝わりました。私たち塾生一人一人のチャレンジしたいことに、真摯にお答えいただいていたことが嬉しかったです。